



## 連載・税理士から見た歯科医院経営

### 医療法人シュミレーションの時期です…

皆様こんにちは！

確定申告の時期は、医療法人のシュミレーションの時期でもあります。所得が1800万円以上でしたら、一度シュミレーションされてはと思います。

この医療法人ですが、単に作るだけなら誰でも出来ますが、問題は、「どう作るか？」でして、設計によってメリットが年間数百万円、生涯所得なら大袈裟でなく数千万～億単位で変化します。

例えば、院長と奥様を歯科医師国保で継続させるか？  
医療用の機器を医療法人に移転するか？  
このあたりはよく間違えるポイントです。  
しかも後で変更できないので、くれぐれもご注意ください。

また、医療法人の社員（スタッフではない）に子息全員を入れたりするのも考えものです。

医療法人の社員は役職に関係なく、等しく議決権を持ちます。  
兄と弟で意見が分かれて何も決まらないなんてことも珍しくないのです。

経験則なのですが、兄弟仲良く法人を運営するというのはかなり稀です。

一時的に理事に入れるのは構いませんが、社員はコンセンサスの取れる最少人数にしておくのがオススメです。

もしご質問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。

 税理士法人アップパートナーズ  
～ www.upp.or.jp ～



〔福岡本部〕 福岡県福岡市博多区博多駅東 2-6-1 九筋筑紫通ビル 9F TEL:092-403-5544  
〔佐賀中央オフィス〕 佐賀県佐賀市鍋島 2-2-9 TEL:0952-33-7501  
〔佐賀オフィス〕 佐賀県伊万里市二里町大里乙 1766-4 TEL:0955-23-6712  
〔長崎オフィス〕 長崎県長崎市曙町 4 番 9 号 TEL:095-861-2054  
〔佐世保オフィス〕 長崎県佐世保市白南風町 1-13 JR 九州佐世保ビル 2F TEL:0956-76-8189

## FDH Information

### 伝来の地、福岡から Re;start 九州デンタルショーが開催されます。



昨年より続く、新型コロナウイルス感染症の影響で、全国各地で予定されていた歯科医療の祭典デンタルショーの中止が相次ぎ、昨年5月の九州デンタルショーも例外なく中止となりました。  
今年は医療従事者へのワクチン優先接種も開始され、徹底的な感染対策を講じた上で、満を持して九州デンタルショーの開催を予定しております。  
多くのご来場をお願いいたします。

## FDH シリーズ 「人 ~ 丑のひと ~」



専務取締役  
村田 匡弘

生年月日 昭和48年3月11日  
動物占い グリーン チーター  
仕事内容 会社の顔

営業本部を統括する専務取締役。  
2003年入社で、北九州営業所長と弊社の全3拠点長を歴任し、2018年に専務取締役に就任。全営業部隊の管理、企画立案、メーカー契約、業務部とのシステム構築などなど、お得意先と全社員にとってより良い福岡デンタル販売となる為のシステム創りを担っています。

### Contents of this month

- > コロナ後の NewNomal ~ フィリップス社の事例に学ぶ環境感染制御 ~
- > 税理士法人アップパートナーズ 菅代表コラム 「確定申告時は法人シュミレーション…」
- > FDH Information 「九州デンタルショーが5月29日、30日で予定されています」





## コロナ後の NewNomal

～ フィリップス社事例に学ぶ環境感染制御～

3月に入り、福岡県下への緊急事態宣言は解除され新型コロナウイルス感染症の第3波の拡大はひとまず収まりを見せている。医療従事者向けのワクチン接種も開始され、まだまだ予断を許さない状況ですが、このまま収束へと突き進んで欲しいものです。今回のコロナ禍は、ネット会議や電子マネーの普及などの私たちの生活様式を含め、様々な環境が新しい NewNomal として変化していますが、



歯科医療環境においては、過大なりリスク評価にもかかわらずクラスター発生の事案もなく、歯科医療従事者の感染制御の徹底が評価されています。弊社も社員の安全を第一に、歯科ディーラーとして消毒剤やマスク・グローブの安定供給を継続することができました。

そんな中、2020年2月24日フィリップス社の人工呼吸器（V60型）のユーザー通達され、環境感染制御における NewNomal として根付いたのが医療機器の消毒業務における前処理（洗浄剤による清拭）の徹底で

した。フィリップス社は、コロナ禍の医療現場リスクであったエアロゾル汚染へ対応する為、2003年にWHO及び米国CDCが定義した『医療現場における環境感染制御ガイドライン』の徹底を全ユーザーに対し通達しました。それは、基本的な事項ではありますが、消毒作業の前に洗浄剤で微生物を殺滅出来る状態にする前処理洗浄の徹底であり、ユーザーマニュアルに明記している人工呼吸器のタッチパネル表面及び器械表面に対し、使用薬剤を指定し再周知と、その徹底を促しています。

リスク	対象	対策レベル	方法	対象物
クリティカル (高リスク)	放射線への侵入、骨への接触、血液または体液の接触、粘膜への侵入または接触があるもの。	滅菌	高温高圧滅菌、EOG滅菌等	外科用器具、植歯器具、外科用切開パター、根管治療用器具、スケーパー、プローブ等
セミクリティカル (中リスク)	粘膜または皮膚のある皮膚への接触があるもの、粘膜または皮膚への侵入せず、骨への接触もなく、血液または体液は粘膜や皮膚への侵入や接触がないもの。	消毒 ※殺菌剤に侵すものは必要	ウォッシャーディズインジェクター、煮沸、乾燥、消毒剤等	デンタルミラー、印象用ストレーパー、パキウムチップ、充填剤、プライヤー等
ノンクリティカル (低リスク)	骨のない皮膚との接触があるもの。	洗浄及び乾燥 ※殺菌剤に侵すものは必要	水洗、洗浄剤等	ラバーボール、印象用スバチュラ、ユニット（ベース、スピット）、白衣等

米国疾病対策予防センター（CDC）は、左図に示す通り、医療現場での使用する医療機器に対し、スポルディングの分類を定義し、そのリスクに応じた微生物制御の最終処理を規定しています。環境感染制御は、殆どが“ノンクリティカル”に分類され、損傷のない皮膚との接触がある表面への対応であり、ノンクリティカルな表面にヒトの手指の接触が媒介し交叉感染を起こるリスクを軽減することが求められます。エアロゾルが発生する歯科医療現場も同様で、診療ユニットやレントゲン、インプランターなどの医療機器表面、テーブルやモニター表面、近年で増えて来ているタブレット端末の表面などが挙げられ、付着する微生物を含む汚染物に対する対応が求められます。今回のフィリップス社の事例を応用すると、単に消毒剤を噴霧もしくは清拭するのではなく、微生物を消毒できる状態にする『前処理』が必要であるという事になります。これらは、医療器具の再生手順では超音波と薬液を使った前洗浄と同じ考え方であり、環境表面に対する清拭業務

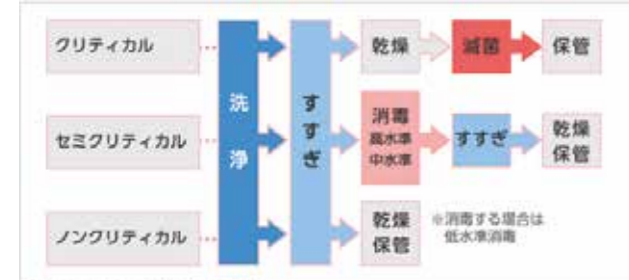


図1. 医療器具の再生処理の流れ (※モリタ インターネットデータより参照)

務における NewNomal な取り組みであると考えています。コロナ後も人類と微生物の戦いは続きます。歯科医療現場でも前処理の徹底により、安心安全な医療環境が継続できれば幸いです。

## 世界基準の 環境感染制御ファミリー

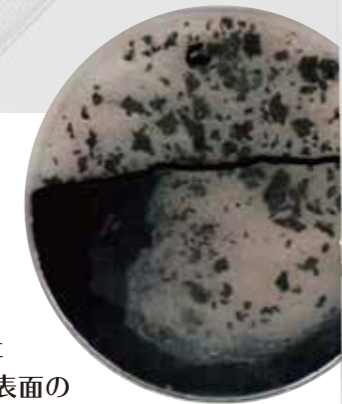
### Nextera ワイパー

キュブラ繊維 100% 使用し、清拭業務に最適化した連続長繊維不織布のハイグレードワイパー

- 高い吸水性
- 低パーティクル・リントフリー
- 高ピュアリティ
- 静電気の発生 少
- 密着性
- 耐熱性
- 生分解性

### インターセプト™

バイオフィルム破碎効果が認められた非酵素で中性の次世代前処理洗浄剤



次世代前処理洗浄剤インターセプト™は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、昨年2月よりフィリップス社 V60 型人工呼吸器（医療器具）のタッチパネルを含む機器表面の前処理洗浄剤として指定されました。

WHO 及び CDC は 2003 年策定のガイドラインより、病院内における接触感染リスクが高まる接触表面に対し、消毒剤を使用する前に適切な前処理によりバイオフィルムを含む汚染を除去することを求めており、コロナ禍からのニューノーマルとして、フィリップス社はエアロゾルを含む汚染に対応するため、医療機器表面に対する前処理の徹底を全ユーザーに求めています。